

中国・安徽省商務庁との協力覚書の締結について

みずほコーポレート銀行(頭取：佐藤康博)及びみずほコーポレート銀行(中国)有限公司(以下みずほ中国)は、9 月 19 日に安徽省商務庁との間で協力覚書を締結しました。この覚書は、当該地域への日系企業の進出支援等を通じ、同地域の経済発展への相互協力を図ることを目的としています。安徽省商務庁が外資系銀行と協力覚書を締結するのは今回が初めてです。

安徽省は、中国中部 6 省(安徽・山西・江西・河南・湖北・湖南省)で進める中部振興計画において中核となる省です。上海市、江蘇省および浙江省の主要都市とともに長江デルタ経済圏を形成する等広域な経済基盤を活かし、近年めざましい経済発展を遂げており、外資企業の進出も増加しています。

安徽省商務庁は、政府関係投資の実施や外資誘致のサポート等を行っており、当行グループとしても、今回の覚書締結を機に、隣接する江蘇省の当行南京駐在員事務所及びみずほ中国無錫支店が、当該地域における産業誘致のアドバイス、投資説明会開催等への協力を進めるとともに、みずほ銀行をはじめとする他のグループ各社と一体となり、同地域へ進出する日系企業へのサポートを一層強化していきます。

(参考：安徽省の概要)

中国華東地域の東北部に位置する内陸省で省都は合肥市。人口約 6,000 万人(2010 年末)。2010 年の GDP は 1 兆 2,263.4 億人民元。省内に 9 つの国家級開発区、140 の省級開発区がある。

省内は石炭と鉄鉱石などの地下資源に恵まれており、馬鞍山鉱山や銅陵銅山などが国内外で知られている。工業では安慶の石油化学や合肥、蕪湖の機械、電子、紡績、食品などが主要産業。

以 上